

広報

県遊協

山形県遊技業組合
TEL 023-615-6922
FAX 023-615-6923
E yamagata@zennichiyure.n.or.jp

◎県遊協・理事会を開催

H25・7・30 於 県遊協会議室



第一号議案 9月5・6日開催の東北遊連定例会議出席者の選任について
第二号議案 山形観光キャンペーン推進協議会員への入会について(保留)

第三号議案 健全営業等県大会の実施について
第四号議案 県遊協表彰の審査について
(マルハン新庄店・犯人逮捕協力)

第五号議案 次回理事会(9月25日午後一時)
第六号議案 その他・子供車内放置事故防止・巡回ベストの配布・少年野球教室の開催日程など

【報告事項・東北専務理事会】

① 7月4日開催の東北専務理事会の報告からPCによるゴト防止システムの構築について
② 全日遊連理事会から

・26年度全国ファン感の実施について(実施)
・「賞品」と「景品」の使い分けについて
玉・メダルと交換する物品は「賞品」

・リカバリサポートネットワーク告知ポスターの掲示状況の実態調査結果について
・ヤクルト本社正月キャンペーンの実施について
・社会貢献大賞等の贈呈式の実施について

●風営法違反で営業停止6ヶ月

6月14日付け北海道新聞など

同新聞などでは、苫小牧市のぱちんこ店が玉がかりを防止するため、釘一本を無承認で変更した事案について北海道の公安委員会は、「風営法違反・遊技機の無承認変更」で6ヶ月の営業停止処分としたと報道している。通常2〜6ヶ月としているが、最も重い6ヶ月となったもので非常に厳しい処分と見る関係者が多い。他人事ではありませんよ。気をつけましょう。

◎全日遊連 全国理事会を開催

7・24 第一ホテル東京

第一号議案 新参与の承認について

第二号議案 新理事・参与の所属委員会について
第三号議案 平成26年度ファン感の実施について【報告事項】

①リカバリネットワーク相談窓口告知ポスターホール内掲示状況調査結果について

②ヤクルト本社キャンペーン(のめり込み防止キャンペーン) 来年一月に実施する予定

③「特選景品カタログ」を平成26年から「特選賞品カタログ」と変更。風営法に基づき変更した。

④執行部及び機械対策正副委員長がECO遊技機の実機を見学した感想報告。イラスト通り

⑤その他各種委員会の開催結果報告

◎参議院議員選挙・自民が圧勝

7月21日投票された参議院議員選挙は、自民が65席を獲得、連立を組む公明党が11議席で合計76議席を獲得し、ねじれ現象を解消した。選挙では、原発再稼働・沖縄基地・TPP・消費税・東日本大震災復興など重要な問題が議論の対象とならず、野党側はアベノミクス一つで完敗したことになる。確かにアベノミクス効果はあるだろうが、結果としてデフレが解消し、経済効果が現れ始めたとしても、娯楽産業にその効果が現れるのはまだまだ先の話である。

我々業界も多くの問題を抱えているが、政界もまた同じ、一つ一つ解決するしかないのだろう。とにかく経済再生に全力を尽くして欲しい。

☆夏用 巡回用ベストを配布

複数の組合員ホールからの要望がありましたので、新しく巡回用ベスト(メッシュ・半袖)を新調しました。各ホール宛て二着を配布しましたので巡回時有効に活用してください。

駐車場やホール付近の巡回時に着用すれば、巡回中であることの目印になり

巡回がしやすくなります。また、車上荒らし等の犯罪の抑止効果も出て、防犯上の効果も得られます。



巡回がしやすくなります。また、車上荒らし等の犯罪の抑止効果も出て、防犯上の効果も得られます。

◎古谷洋一警察庁保安課長講話要旨

日遊協通常総会での講演から抜粋

遊技人口減少の歯止め 低賃玉営業に本来の姿

幅広い年齢層の人々にパチンコ遊技への興味を向けて貰う上で基本となるのは、遊技の敷居が低いこと、すなわち特別に身構えずにふらっと立ち寄って、ポケットマネーの範囲内で後腐れ無く適度に楽しんで帰ることが出来るという身近な大衆娯楽としてのパチンコ本来の姿に他ならない。射幸性の抑制と低賃玉営業は健全な形でファンの裾野を広げる。店長交代や取材日宣伝 他産業ではあり得ない

従前からある「〇〇の日」や「店長就任記念」等の出玉イベント告知が散見される。また、表面的には雑誌社が主催するライター等取材イベントやコンパニオン招致イベントと見せ掛け、実質業者が主導する出玉イベントなどの事例がある。他の産業では、店長交代を客に向けて大きく広告するようなことは見かけないし、取材日前に客に広告するようなこともないと思われ、意図するところは明らかであり、一般社会との大きなずれがある。

特定日に多い出玉等 不正改造が前提にある

出玉イベントとして特定の日に出玉が多くなるようにすることは、胴式遊技機を高設定にする場合以外は違法行為が前提となる。虚偽広告でなければ釘曲げを始めとする遊技機の無承認変更を行っていることになる。いまだにこうした広告等を行おうとする業者は、警察から疑いの目が向けられていることには思いを致すべき。警察の取締りを受けなければ構わないという体質を改めて欲しい。

「広告表現」国会で質疑 厳密に受け止めるべき

先日、国会で、パチンコ営業の広告に関する質疑が行われた。質問に立った議員は、パチンコの広告については、「余りに魅力的な表現にし過ぎると未成年者が必要以上の興味を示してしまう」との認識を示した。パチンコの広告が国会において関心を持って取り上げられたこと、そしてそのあり方に懸念が示されたことについて厳粛に受け止め、広告・宣伝等の健全化を徹底していただきたい。続く

●閤入口4年間に40店を摘発

警察庁によると、全国の警察は10〜13年度の4年間に東京・神奈川・大阪など15都道府県で閤入口40店を摘発し、一五五二台のスロット機を押収した。同庁幹部によると、「悪質な下取り業者や倒産したパチスロ店から流れているのではないかと」

され、ギャンブル性が高く人気があるため違法店舗が後を絶たない実態がある。業界では「閤スロ撲滅推進実行委員会」を立ち上げ約三〇〇台を回収したが、パチスロ店が手放し、流通してしま

ったものについては把握していないという。警察庁では、「粘り強く取り締まりたい」としている。

●必勝法詐欺で340万円被害

北海道の会社員女性(27)が、6月7日にパチンコ必勝法の情報提供会社社員を名乗る男に現金340万円を騙し取られたと警察に届けた。5月9日、女性の携帯へパチンコ必勝法情報を提供する旨のメールが入った。女性がメールで申し込んだところ、男から電話があり、必勝法を教える代わり5月17日〜6月6日の間12回にわたり指定された口座に振り込んだ。女性は情報通りにしても勝てないため騙されたことに気づいたという。山形県でも今年に入り男性数名が、11回にわたり284万円の被害がありました。

組合としては、県警の指導を受け、「攻略法詐欺防止のポスター」五〇〇枚を印刷し、各ホールや警察署・交番等に配布したところだ。

「パチンコ・パチスロには特別な攻略法はありません」が謳い文句です。

日本国内、真夏日と集中豪雨の繰り返し。でも車内は凄まじい温度になります。まずは巡回、そしてしっかりと車内を確認してください。

編集後記

真夏日(30度以上の日)・猛暑日(35度以上の日)が続く、今度は日本列島集中豪雨で大きな被害。かと言って熱中症も心配です。上手に節電し、お客様の健康にも配慮してください。また、ホール従業員の健康も大切、美味しいもの(人により異なる)をしつかり食べて暑さを乗り切ろう。熊坂



日本国内、真夏日と集中豪雨の繰り返し。でも車内は凄まじい温度になります。まずは巡回、そしてしっかりと車内を確認してください。